



(1) 第1部講演の感想

- ✓ スライドが早く、なかなかメモをとれなかった。でも聴いていて勉強になりました。
- ✓ 少し小さな数字だったので見づかった点もあります。意思表示はやはり大切だと思います。家族が勝手な判断で行ってしまうからです。自分がレシピエントであり、心停止後のレシピエントだから、思いやりがわかるのです。
- ✓ 臓器提供が増えないジレンマが私にもありますが、今日のお話を伺ってあらためて、自分は意思表示をして提供したいと思いました。（60歳を過ぎてますが）もっと多くの一般の方にこの講座を聞いて欲しいと思いました。
- ✓ 自分の考え方をまとめると共に家族との話し合いの機会を持ちたいと思う。
- ✓ 人間は動物の命をもらって生きていること。それとは少し違うが死に行く人の臓器が人の命につながる。この2つがまったく違ったものではないんだと感じました。
- ✓ 委嘱に関しては知らない人も多いとおもいますので、知ってもらえるよう身近な人に話をしていければと思います。
- ✓ 脳死・臓器提供等80歳の私は考えることが難しい。

(2) 第2部講演の感想

- ✓ 実体験の話は聴くことはすごく貴重でした。ありがとうございました。
- ✓ 息子様の勇氣にとても感動しました。
- ✓ 河野先生、よくご無事でお話をさせていただきありがとうございました。ユーモアを交えてとても興味深い内容でした。
- ✓ 家族間の話し合いの大切さ、理解しあわなければいけないことがわかりました。脳死だけというもおおきな移植方法だと話をきいて思いました。（現在）死後の提供について。
- ✓ この講演を聞きに来て良かったと思いました。
- ✓ 肝臓移植の実例は非常に参考になった。生きる大切さを学んだ。
- ✓ 河野さんのお話が感動的であった。
- ✓ 体験談は身近に感じられました。
- ✓ 重要性和難しさの両方を感じた。
- ✓ 65歳までと思っていた命が、90歳まで…と現在もお元気そうで。臓器移植で助かる命があることを色々な人知って欲しいなと思いました。

(3) 意思表示についての思い

- ✓ 助かるいのちがあるなら、他人でも国が違っていても助け合う必要はあると思う。自分は力になりたいと思う。
- ✓ せっかく河野洋平さんが講演される会で出席者が少ないのは余のPR不足を感じる。
- ✓ レシピエントとして生き方からドナーとしてのいきかたも方向性を考えてみたこともあったから。
- ✓ 意思表示がイエスノーであってからのスタートである。
- ✓ 教える命をひとつでも多くと願う。
- ✓ 提供する、しない、どちらも意思表示することは大切だと思います。命を連鎖させられる可能性があるのに無駄にするのはよくないと思います。
- ✓ 若い人の患者さんには必要と思いますが、高齢者の手厚い手当は必要を感じない。

(4) 周囲と会話をしようと思いましたが

- ✓ 子どもに話そうと思った。
- ✓ 命は大切ですが自分の事は自分でやる努力をする介護を受けるのは最後の最後と思う。

(5) 展示品について

- ✓ テーブルの上のせてあるだけでは、アピール性に欠けると思いました。
- ✓ 参考になる資料多し。

(6) 企画してほしいテーマ、内容

- ✓ 神奈川県内病院のスタッフ同士のディスカッション。
- ✓ 臓器提供を主題になると参加する人が片寄る。意識を持った人が集まらないため、イベントのサブテーマとして臓器移植を考える会があると良いかなと思います。
- ✓ 今回の様に臓器移植を実際に受けられた方のお話や家族のお話を聞いてみたいです。

(7) 今回の講座についての意見

- ✓ 教育関係に努めています。大人だけでなく子どもの時から移植手術について学ぶべきだと思う。学校の授業に取り組みなど、もっと知ってもらう必要がある。でも、若い人に死後のことを話すのはいいことなのか、わかりません。いのちを大切にしようって言って、死んだ後の話をするのは、平気でしょうか？
- ✓ 今回のような公開講座初めて出席しました。今後この様な活動に参加して勉強したいと思います。
- ✓ レシピエントの体験談もぜひお願いします。
- ✓ 開場を満席にすることが今後の課題だと思います。そのためにはほとんど体験を語っていくことです。このままでは一方通行です。患者側の話もとても大切です。
- ✓ 河野先生のお話について次回は近場でやって欲しいと思いました。（藤沢・茅ヶ崎・平塚等）
- ✓ とても参考になりました。
- ✓ 方石先生がご紹介されている結婚式の話は感動しました。日本でも臓器移植を受けた方がオープンになり、日常となれば良いなと思います。
- ✓ 入口でキャラクターを使って案内していたのは興味くと思いました。